

## 平成27年度 小山町立いきど保育園評価「自己評価書」

### 1 教育目標 「いきいきと活動できる子」

### 2 重点目標及び具現の方策

- ・目標に向かっていくまでに、失敗、トラブルなどの実体験を通して、意欲・自発性思いやりを培う。
- ・四季折々の自然に触れ、小動物の飼育から、美しさ・不思議さの尊さを学ぶ。
- ・栽培活動を通し、収穫の喜びと共に、食べ物に対する感謝の気持ちと、自分を守る必要な能力（食育）を学ぶ。
- ・世代ふれあいを通し、お年寄りの存在に気づき、伝承遊びや手作り玩具の大切さを知る。
- ・音楽や絵本に親しむ中から、豊かな感性や想像力を培う。

### 3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	教職員アンケート結果	保護者アンケート結果
教育課程	B	年間計画の立案	B	B
保育指導	B	保育指針・幼稚園要領で発達を踏まえる	B	A
保健管理	A	季節や行事に対するメッセージによる関心度アップをはかる	A	A
安全管理	B	保護者への啓蒙をはかる	B	A
特別支援教育	C	カンファレンスで子ども一人一人を把握する	B	
組織運営・情報管理	C	園全体で周知し合う	B	B
研修	C	協議や話し合いを進めていく	C	
教育目標・学校評価	C	保護者に伝達の方法を工夫する	C	B
情報提供	D	園外等の掲示の工夫	B	B
保護者・地域との連携	C	園内の掲示を見やすく	B	B

		する		
子育て支援	C	ホームページ等の掲載	B	B
施設・設備	B	課との相談を行う	B	B

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「教職員アンケート結果」及び「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「項目別評価」は、「教職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、教職員で話しあって決定したものである。

#### 4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
教育課程の見直し	個々の課題を持ち保育に繋げていく。その計画を立てる時間の確保。
カンファレンスの取組み	定期的に取り組むために時間を設け、計画的に進めていく。(職員共通理解のための子どもに対する話し合いを含む)
地域・保護者の連携を図る	園外保育等での関わりを持つ。地域の方とのコミュニティーの場を作る。 保護者に園理解のための伝達方法の工夫。

#### 5 評価全体を通して

- ・改善したい点を早急に話し合い方法を考えていく事が必要だった。
- ・保護者からのアンケートも早めに周知し、見直しの点を話し合うことが必要だった。
- ・園内研修を月に1回行い、振り返りをする必要があると感じた。
- ・項目の判断があいまいになり、(噛み砕いた文にしてほしい) 考えさせられる項目が多かった。
- ・保育指導等については見直すよい機会だった。
- ・今年度の反省点を活かして、評価が上がるように意識をもって、取り組めるように話し合いの場を作っていく。